

令和 3 年 3 月 15 日
生活文化局

ガストーチによる火災・やけどに注意！

～「ガストーチの安全な使用に関する調査」を実施～



ガストーチは、ガスカートリッジを接続して火口から高温の炎を噴出させる器具です。近年、アウトドアやDIY、炙り料理などに使用する消費者が増えていますが、接続部からのガス漏れが原因となった火災や、火口付近などに触れてやけどをするなどの事故も発生しています。

そこで、東京都はガストーチの使用状況や危害に関する消費者アンケートと、安全性に関する試験を実施しました。

《アンケート調査結果（抜粋）》

都内在住でガストーチ使用経験のある 20 歳以上の男女 1,030 人を対象に、インターネットで調査

(危害、ヒヤリ・ハット事例)

レジャーや料理等で事故が発生！【報告書 P. 14】

ガストーチの危害経験やヒヤリ・ハット経験時の使用状況は、「調理中」(53.0%)、「バーベキュー等のため炭に火起こし中」(35.9%)、「DIY 作業(溶接等)中」(21.8%) でレジャーや調理中に多く発生していた。

魚をあぶっていた時に、近くにあるティッシュペーパーに火が付いた

キャンプで炭に火をつける時、ガストーチが熱くなりやけどをした

意外と知らない正しい使い方！【報告書 P. 20-24】

メーカーの異なるカートリッジを接続して使用したり、接続前に「Oリング」(※1)を確認せずに使用する、点火前に臭気を確認しないで使用する(※2)のは事故につながるおそれのある使い方だが、使用経験者の 3 割～4 割程度が、そのことを知らずに使用していた。

	危険と知らなかった	危険と知っていた
メーカーの異なるカートリッジを接続して使用	39.4%	60.6%
接続前にOリングを確認しないで使用	38.2%	61.8%
点火前に臭気を確認しないで使用	35.2%	64.8%
ガスカートリッジを接続したまま保管	27.4%	72.6%

※1
ガストーチのカートリッジ接続部分に取り付けられたガス漏れを防ぐ環型(O形)のゴム製部品

※2
ガス漏れが分かるよう、ガスカートリッジのガスにはおいが付けられている

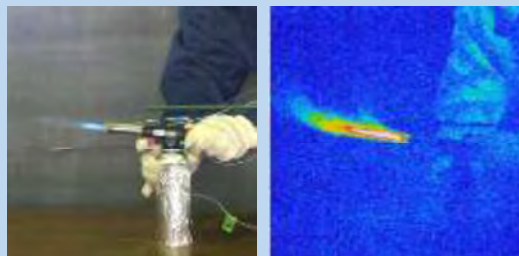
《安全性に関する試験結果（抜粋）》

7 製品について温度測定試験を実施

使用後の火口部や見えない炎にも要注意！【報告書 P. 41-47】

火口付近の温度は点火直後に急激に上昇し、最高温度が最も低い製品でも約 280℃、最も高い製品では 480℃以上となった。消火後には、火口付近の温度は急激に低下するものの、やけどの危険がある 70℃を下回るまでに 6 分かかった製品もあった。

また、火炎放射状態をサーモグラフィー画像で確認すると、実際に見えている炎より広範囲に火炎が放射されていることが分かった。



火炎放射時の実画像(左)とサーモグラフィー画像(右)

【裏面へ続く】

詳しくはこちらをご覧ください。



<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/>

【問合せ先】

東京都生活文化局消費生活部生活安全課
内線 29-871
電話 03-5388-3082

◆消費者へのアドバイス

やけどに注意しましょう

ガストーチによる受傷事故の多くはやけどです。火炎放射中はもちろん、消火後も数分間は火口付近が高温となっています。使用後は誤って触れてしまうおそれがない場所で冷まし、温度が下がるまでは触れないようにしましょう。

また、アウトドアでのバーベキューや焚き火の火起こしで使用する場合は、火の粉が飛んできたり、風によって火炎の向きが変わったりすることがあります。焚き火用の手袋を使用するなどして、やけどをしないように注意しましょう。

使用目的・場面に合った製品を使用しましょう

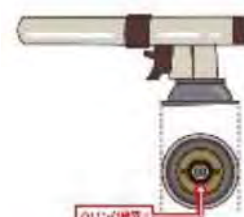
ガストーチには「屋外専用」や「調理専用」など使用目的が限定された製品があります。使用目的に合わない製品を使用すると、思わぬ事故が発生するおそれがあります。取扱説明書等をよく確認してから使しましょう。

また、屋外や明るい場所では炎が見えづらくなったり、風が強い場合は炎が思わぬ方向へ放射されることがあるので注意が必要です。

使用前にきちんと確認・点検をしましょう

使用前に、取扱説明書にある「警告」、「注意」と表示されている内容をよく確認して、正しく使しましょう。

ガスカートリッジの接続前にOリングの状態を確認し、点火前には臭気の有無も確認しましょう。ガスカートリッジのガスは、ガス漏れが分かるように、においが付けられています。臭気を感じた場合はガス漏れの可能性がありますので、使用をやめましょう。ガストーチと異なるメーカーのカートリッジを接続して使用することは安全性が確認されていませんので、指定のガスカートリッジを使用しましょう。



【Oリング】

正しく保管しましょう

ガストーチとガスカートリッジを接続したまま保管すると、誤作動やガス漏れの危険があります。ガスカートリッジを取り外すことができない製品を除き、取り外して保管しましょう。保管する際は、ごみなどの異物が混入しないようにするとともに、ガスカートリッジには必ずキャップをしましょう。

信頼できる製品を選びましょう

市場には、様々な製品が流通しています。なかには、極端に廉価な製品やメーカーのはっきりしない製品もあります。製品が故障した際や事故が発生した際の連絡先等が記載されていない製品もあります。

事故防止及び事故が発生した際の対応の観点から、製造元や販売元がはっきりしている製品を選びましょう。

◆要望・情報提供

製造事業者団体、販売事業者団体、国等に対し、さらに安全な製品開発の検討、普及等の取組及び消費者に分かりやすい注意表示等の記載、ガストーチの適切な使用方法の周知等、使用における事故防止に向けた安全対策を推進するため、要望・情報提供を行います。

◆動画

ガストーチを安全に使用していただくために作成した動画をご覧ください。



報告書はホームページからダウンロードできます。

東京くらしWEB



<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/test/gastorch.html>